

議 会

定例会

平成22年第1回定例会は3月4日に召集され、提出された案件を審議し12日に閉会いたしました。

委員会報告

■総務産業常任委員会

■調査期日 1月14日(木)

■調査事項

1. 指定管理者の委託状況(温泉の経営状況、施設改修)について

2. 町の財政状況について

■調査結果

1. イベント等、町民から喜ばれる事業に積極的に取り組んでいただきたい。

2. 指摘事項なし

■調査期日 2月9日(火)

■調査事項

・町道維持管理の委託状況及び除雪状況について

■調査結果

・生活の安全と交通の確保のため、国・道に対し排雪が適

切な時期にされるよう強く要請を願いたい。

■調査期日 3月8日(月)

■調査事項

・「フッ化物洗口法」の推進を求める要望について

■調査結果

・う蝕予防対策として、もっとも大きな効果をもたらすことが示されており、関係者と十分協議され推進されることを強く望む。

■予算審査特別委員会

■審査期日 3月9日(火)

10日(水)

■審査事件

平成22年度予算(9会計)

■審査結果

文書による指摘2件、口頭による意見2件を付与し、原案どおり可決すべきものと決定。

同意

○監査委員の選任について

・3月31日任期満了のため

小松 忠彦氏(再)

○北竜町表彰条例に基づく表彰について

・産業経済功勞

吉尾 政一氏

伊藤 勝造氏

・社会福祉功勞

木村 正直氏

山本 昌子氏

佐藤 香氏

原案可決

○北竜町産地づくり基金条例の廃止について

○北竜町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について

○空知教育センター組合規約の変更に関する協議について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について

○北海道市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について

○平成21年度北竜町一般会計補正予算(第8号)について

・既定予算額に220,208千円を追加し、総額を3,052,228千円とする。

○平成21年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額に3,879千円を追加し、総額を135,039千円とする。

○平成21年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額から45,066千円を減額し、総額を20,675千円とする。

○平成21年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額から3,846千円を減額し、総額を407,057千円とする。

○平成21年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について

・既定予算額から9,396千円を追加し、総額を3,996千円とする。

○平成21年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額に3,879千円を追加し、総額を135,039千円とする。

○平成21年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額から45,066千円を減額し、総額を20,675千円とする。

○平成21年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額から3,846千円を減額し、総額を407,057千円とする。

○平成21年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について

・既定予算額から9,396千円を追加し、総額を3,996千円とする。

○平成21年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算額に3,879千円を追加し、総額を135,039千円とする。

○平成21年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

千円を減額し、総額を85,788千円とする。

○平成21年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

・収益的収入で4,668千円を減額し、総額を51,413千円とする。

・収益的支出で1,706千円を減額し、総額を59,294千円とする。

○町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について

○職員の給与に関する条例の一部改正について

○北竜町国民健康保険条例の一部改正について

○公の施設に係る指定管理者の指定について(北竜町老人福祉センター)

○公の施設に係る指定管理者の指定について(北竜町老人憩の家)

○平成22年度北竜町一般会計予算について

・予算総額2,430,000千円とする。

○平成22年度北竜町国民健康保険特別会計予算について

・予算総額394,000千円とする。

○平成22年度北竜町立診療所事業特別会計予算について

・予算総額131,400千円とする。

○平成22年度北竜町老人保健特別会計予算について

・予算総額140千円とする。

○平成22年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について

・予算総額27,600千円とする。

○平成22年度北竜町介護保険特別会計予算について

・予算総額239,000千円とする。

○平成22年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について

・予算総額416,000千円とする。

○平成22年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について

・予算総額94,000千円とする。

○平成22年度北竜町簡易水道事業会計予算について

・予算総額71,000千円

とする。

○平成21年度北竜町一般会計補正予算(第9号)について

・既定予算額に5,014千円を追加し、総額を3,057,242千円とする。

○保育所・学校等におけるフッ化物洗口を推進する決議について

意見書の提出について

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○農山漁村の多面的機能を維持する施策の推進を求める意見書について

○戦没者の遺骨収集の完遂を求める意見書について

○食供給力の確保に必要な農業生産基盤整備の促進を求める意見書について

一般質問

4名の議員から5件の一般質問がありました。質問内容については、5月号に掲載いたします。

保育所・学校等におけるフッ化物洗口を推進する決議

食することや話すことを生涯にわたり支える口腔の機能は、人が生きていく上で重要な役割を果たしている。近年、歯及び口腔の健康を保持することが、生活習慣病予防を初めとする全身の健康状態の維持増進、介護予防等に貢献することが明らかになってきている。

また、厚生労働省のフッ化物洗口ガイドラインによれば、フッ化物洗口は、4歳児から14歳までの期間に実施することが虫歯予防対策として最も大きな効果をもたらすとされている。

このため、道民の口腔機能の低下を防止し、8020運動の目標を達成するためには、歯の喪失の主な原因である虫歯を予防する必要がある、その有効な手段としてフッ化物の利用は重要である。

しかしながら、道民の歯及び口腔の健康に対する認知は十分でなく、歯科疾患有病率は全国平均に比較して高い状況が見られることから、生涯を通じた歯・口腔の健康づくりに関する対策を総合的かつ効果的に推進するため、北海道は「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」を制定し、本条例の第11条に「学校等におけるフッ化物洗口の普及」を掲げている。

よって、北竜町議会は、北海道において「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」が制定されたことを踏まえ、関係者と十分協議の上、保育所・小学校等におけるフッ化物洗口の推進により、健康習慣行動を通じて子どもたちがみずからの健康を保持することへの理解を深め、生涯にわたる健康づくりの基礎となることを期するものである。

以上、決議する。

平成22年3月12日

北竜町議会

議員コラム

中国の経済発展はめざましく、いまや1億5千万の富裕層が海外旅行を楽しんでいると言う。東京秋葉原の家電量販店では何十万単位で買い物してくれるのは中国人だという。そう云えば、札幌のJR駅に隣接するヨドバシカメラやビックカメラでも中国人観光客が多い。旧道庁赤レンガも中国からの観光客が目につく。一口に1億5千万の富裕層と言っても、日本の人口と同じだ。すごい経済力。しかし、あまりにも階層格差が激しすぎるからか、不満を抑えるために今年の全人代では、今まで無制限に伸びていた軍事費を医療や福祉にシフトすると言う。十分な軍備が整ったと言う事か。確かに数年前視察した中国は、都市と農村の生活水準の違い過ぎる現状に驚いたものだ。▼アメリカ

も中国人観光客を引き寄せようと、あの手この手のPRに余念がないようだ。北竜町もひまわり観光でアジアからの来客も多くなってきた。国内だけに目を向けられない事に早く対応して外国からのお客に喜んで来てもらえるよう努力する事が大切だと思う。

▼3月議会定例会も終わり、西野町長の人にやさしい町づくりを基本とした政策が認定された。ひまわり観光についてはお客さんに圧倒的な驚きと感動を受けて頂けるよう、ひまわりの里全体でのひまわりの一斉開花を目指す努力が求められた。天候に左右される作物だが、23haの畑が一面黄色い花で溢れた情景を思い浮かべるだけで感動する。あとは太陽が味方して、良い天候が続く事を願うばかりだ。

(澤田)

議会を傍聴しませんか？

町議会の定例会は年4回(3・6・9・12月)開きます。お気軽にお越し下さい。平成22年第1回定例会は9名の傍聴がありました。ありがとうございました。